

平成25年度

施政方針

第1回市議会定例会の冒頭で、安田市長が市政運営の方向性を示した「平成25年度施政方針」を表明しました。

今回、施政方針の概要を6つの重点事項ごとに分けて紹介します。また、主な施策の概要とその予算額についてもお知らせします（※金額は万円未満を四捨五入）。

1 豊かな産業づくり

平成25年度から、6次産業化やブランド化の推進など、農林水産業と商工業の振興を一体的に推進することに主眼を置き、施策の展開を図ってまいります。

まず、農業の振興につきましては、担い手の確保は喫緊の課題であり、新規就農者を増やすための農業技術の習得を図る研修制度や、国による青年就農給付金事業を継続するとともに、国の給付金制度が活用できない方に対し、平成25年度から市独自の給付金制度を開始したいと考えております。

また、本市における新たな農業の担い手の育成・確保、農地や農業施設の保全管理、農作業の支援や受託を行う「(仮称)農業担い手公社」の設立に向けた準備委員会を、JA等と連携して進めてまいります。

水産業の振興につきましては、本年10月に開催されます第33回全国豊かな海づくり大会を、活力ある漁村再生の機会ととらえ、本事業の成功に向け努力してまいります。

一方、天草地域での産業の振興を図るうえで重要なものは、「天草ブランド」の確立と地域産業の連携による育成強化であります。農産品、水産品のブランド化を積極的に推進するため、首都圏等でのPR活動や商談会を行うとともに、新たな加工・販売に取り組むための機械施設整備への支援を行ってまいります。さらには、6次産業化を推進し、強化するための調査やセミナーの開催などを積極的に実施してまいります。

また、産業の振興や雇用促進に向け、地域資源や観光資源をいかした新商品の開発や販路拡大等につなげるため、平成23年度から取り組んでおります二地域就労促進事業を、いっそう強力に推進してまいります。

2 魅力ある観光地づくり

平成25年度から、観光や伝統・文化等の地域資源を連携させることにより、効果的で一体的な施策を推進してまいりたいと考えております。「天草」というブランド名をもつ本市にとりまして、交流人口の増大に向けた施策はたいへん重要であると考えております。観光客の誘致を促進するために、新幹線や天草エアラインを活用し、近隣地域との連携を図りながら、回遊性のある広域的な観光推進事業を

引き続き実施してまいります。

また、観光による地域づくり支援や、季節に応じた魅力ある観光イベントの開催による集客を図るため、引き続き海道フェスタ事業を実施いたします。さらに、今年は、全国、九州、県レベルの大会や会議などが予定されており、平成25年度を「おもてなし元年」と位置づけ、天草宝島観光協会と連携しながら「天草島民総おもてなし運動」を展開してまいります。



▲「天草女将会」が本渡港で実施している観光客の“お出迎え”

3 快適な生活環境づくり

一方、交流人口を拡大していくためには、「天草ファン」を増やし、リピーターを増加させていく必要があります。天草の豊かな農林水産資源をはじめ、オリジナルなど新たな商品なども活用し、新作メニューの開発や各種グルメフェアの開催、大都市圏での観光物産展などを開催

近年の自然災害は、私たちの予想を超える甚大な被害をもたらしております。災害による被害を未然に防ぎ、被害を最小限に食い止めることが私たちの使命であると考えております。

水害や地震などから市民の生命、身体、財産を守るためには、迅速かつ正確な災害予報、情報の伝達が必要であります。その手段となる防災行政無線の整備につきましまして、平成28年度からの供用開始を目標に、25年度から実施設計に取り組んでまいります。

また、崎津・今富地区の世界

し、食の観光化を推進してまいります。

ジオパークの推進につきましては、日本ジオパークに認定されています「天草御所浦ジオパーク」の再認定の申請とあわせて、天草ジオパークの認定申請に向けた取り組みを行ってまいります。

遺産への登録に向けた整備事業を引き続き行いますとともに、文化的景観を保全するための活動に対し、支援を実施してまいります。

さらに、文化の薫るまちづくりといたしまして、老朽化などにより修復が必要な天草コレジヨ館の改修を行います。あわせて、昨年末、NPO法人「世界平和大使人形の館をつくる会」様からご寄贈いただきました「世界平和大使人形」を展示し、平和学習活動に役立てながら、交流人口の増加を目ざしてまいります。



▶昨年12月に牛深漁港で行われた「第33回全国豊かな海づくり大会」のプレイベント(先行行事)で、稚魚を放流する子どもたち

(次ページへ続く)